

情報連絡員報告を中心とした  
県内の中小企業動向  
6月

■麺類製造 【県内全域】

関西地区で「手のべそうめん」のJAS法違反がでてしまった。わが業界と業態は異なるが、消費者からは、一般麺業界として受け取られるのではと危惧している。

■シャツ製造 【千葉県・東京都】

付属品、特にハンガー、ビニール、裏地等の価格が上昇している。

■製材 【県内全域】

売上減により運転資金が厳しい。

■印刷 【県内全域】

景況感の減退と予算の減少を反映して、安値受注の声が聞こえる。

6月に大半の印刷用紙の価格が15%前後上昇したので、顧客に転嫁依頼する文書を作成し働きかけている。組合に4社加入。

■生コン製造 【県内全域】

近年にないほどの大巾な落ち込み。回復の目途が感じられない。

■電気鍍金 【県内全域】

資材価格が上昇のため、売上高は増加しているものの、収益は相当悪化している。

■鉄工 【千葉】

仕入単価の急上昇に販売単価の引き上げが追いつかないため、収益の悪化が目立ち始めている。

■機械部品製造 【野田】

ガンリン、材料等の値上がりに伴い、収益状況は依然厳しい。

■石油製品製造 【富津市他】

組合員の中で脱退を考えているところがある。組合は共同購入の資金繰りに追われている。

■採石 【県内全域】

今年6月から本格化する羽田D滑走路工事が、燃料高騰により難航していたが、国、JV側との協議の結果、燃料単価のスライド制を導入することで合意し、中断していた山砂搬入が6月23日から再開本格化した。組合員が昨年度に比べ、10社減少している。

■土砂採取 【県内全域】

羽田D滑走路建設用資材の搬出が進み好転の兆しがある。これに伴い組合の財務状況は強化された。

■総合卸売 【千葉県・東京都】

組合員1社破産手続き開始。

■食肉卸売 【千葉市他】

石油値上げは続く一方で、経営は悪化の方向へ変化している。

■建築材料卸売 【県内全域】

バラセメントの値上げは浸透し

た。袋セメントは他建材商品と同一歩調にての値上げが進む気配。この秋以降に改正建築士法と住宅瑕疵担保法の施行が予定されており、改正基準法の需要減と同様、出荷への影響が懸念されている。

■自動車解体 【県内全域】

前月同様、タマ不足により、仕入れが高騰している。

■小売 【柏】

下旬には、夏物の見切りに入る店もあり、収益はよくない。

■青果小売 【千葉】

原油高等により物価が上昇し、売上げは変わらぬが利益は減少気味である。

■小売 【大網白里町】

売上げは、下降傾向にある。野菜は天候要因からはあまり上昇していないが、中国産が嫌われ、国内産の生姜・にんにくが暴騰。鮮魚はコントロール不能。その他販売価格を原価の上昇で上乗せせざるを得ない状況だが、結果は逆で、客単価(購買)が鮮魚食品で15%、衣料品が10%ダウン、飲料のみプラス4%となっている。

■中古車販売 【県内全域】

直販後退ムード強まる(消費関連に急ブレーキ、生活防衛意識広がる)。

■小売 【東金】

原材料の値上げ等で、商品価格のほか備品等も値上げになり、消費意欲の減退と買上げ数量の減少もあり、トータル売上に影響している。空き店舗対策・組合員の資金繰りが課題。

■小売 【野田】

食品の値上げが買い控えを起こさせているさなか、食品偽装問題が相次いで表面化し、ますます消費者の購買意欲が低下してつた。

■農業機械販売整備 【県内全域】

日本の農業は、高齢化や従事者不足等の構造的な問題から厳しいが、食料を供給するという農業自体が衰退するわけではなく、その重要性が再認識される。

■自動車自転車小売 【県内全域】

組合としては、後継者不在による廃業で、1社脱退。

■自動車自転車小売 【県内全域】

売上減は梅雨に入り、仕方がない。修理は順調のようだ。

■商店街 【習志野】

消費者が日々の生活を切り詰めており、零細業者も売上減にある。6月より、加入が2店舗ある。

■商店街 【銚子】  
景況がよくなる気配が全くない。

■建設揚重 【県内全域】

建設業の低迷による稼働率の低下。さらに燃料費の高騰で厳しい。

■自動車一般整備 【県内全域】

ガンリン価格の高騰により、車の販売や修理車輛の入庫が激減。廃業する事業者もある。

■旅館 【鴨川】

すこしずつ良くなってきている。

■遊覧船 【鴨川】

ガンリン価格の上昇のせい、個人客の減少が著しい。

■一般廃棄物処理 【千葉】

5月と比べ、売上高、収益状況は若干減少したようだ。

■土木建築サービス 【県内全域】

道路関係の予算執行が遅れている。業界では、地籍調査事業の推進及び建築基準法改正に伴う狭隘道路調査の事業化への取組みを行っている。

■ソフトウェア 【県内全域】

案件情報が減少してきている。

■貨物運送 【野田】

わずかながら運賃は上昇の気配があるものの、軽油等の値上がりが多いため、収益がよくなる気がしない。